

令和7年度日本剣道少年団研修会（意見発表会）東北・新潟地区大会結果

令和7年11月24日（月・振休） 宮城県仙台市 ホテル白萩 萩の間



 小学生の部 最優秀賞 池田 結子さん 6 (和合道場) 全国大会へ  
中学生の部 優秀賞 脇澤 仁さん 2 (東栄館)



東北大会最優秀賞の盾を手に、道場の仲間たちから激励を受けて笑顔を見せる池田結子さん（中央） 二庄内町

出場するのは、東京武道館で3月8日を開かれる日本剣道少年団研修会の体験・実践発表会。全日本剣道連盟が主催し、全国各ブロック代表の小学生、中学生9人ずつが出場する。内容や表現力、発表態度などが審査され、最優秀に選ばれると今夏、日本武道館で開かれる同連盟主催の全国大会の際、約1万人の前で発表する。

池田さんは昨秋以降、道場内の選考を経て、田川地区、県の発表会を経て、昨年11月に仙台市で行われた東北大会で、出場8人の中で最優秀となった。作文の題に選んだ「不斷の努力」は、剣道と共に取り組む書道で、合った言葉だ。けがをし

## 小中学剣士の全国体験発表会 池田さん(庄内町)出場へ

# 不斷の努力 自分に挑戦

## 剣道通した決意つづる

「剣道の練習ができなくて、つらかった時、この言葉を通じて仲間と一緒に頑張ってきたことを思い出し、諦めずに挑戦を続けよう」と注意した心境をつづった。

指導する阿部主代表(51)は池田さんについて「なかなか試合で勝てない時も、こつこつ積み上げる努力ができる子」と評価する。池田さんは「先生方や仲間、家族がいたから努力を続けられた。剣道も書道も頑張りたい」とし、「発表でも、自分が出せるものに出し切りたい」と意気込みを語った。



小学生の部



中学生の部

山形新聞 R8年(2026) 1月24日(土)